

栗原議員（公明党）

令和2年9月25日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）教育のデジタル化について

今後、教育分野でのデジタルシフトへしっかり対応するためにも、教職員のデジタル技術を用いた授業スキルの資質向上が早期に求められると考えるが、どのように取り組んでいくつもりか、教育長に所見を伺う。

（答）

今年度から進めております生徒一人1台のコンピュータの導入により、デジタルならではの特徴を生かした個別学習や協働学習を充実させることで、生徒がデジタル機器を日常的に活用しながら主体的に学ぶ姿勢を育てる必要があると考えております。

そのため、県立学校では、各学校の推進リーダーを対象に研修を実施し、導入校における実践例の共有や、教員同士のネットワークの構築を図っております。

あわせて、指導主事が学校を訪問し、授業や学校活動におけるデジタル機器の活用について、具体的な指導を行っております。

また、市町立小中学校につきましては、市町教育委員会と協力し、授業での具体的な活用例などの実践的な研修や助言を行い、一人1台のコンピュータの効果的な活用を推進しております。

こうした取組を通して、県全体の教職員のデジタル技術を用いた授業スキルの向上を図ってまいります。